

第9回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウムのお知らせ

－ 震災からの復興、再生の実現 －

太陽光発電システムに対する各国政府の支援策がヨーロッパに加えて日本やアメリカ、さらには中国にも広がり、世界の導入量は2010年には16.6GW、2011年には20GW以上に達したと言われています。特に、日本では昨年の東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故を契機に、エネルギー政策の見直しが行われはじめ、再生可能エネルギーの主役として太陽光発電が社会的にも注目を集めるようになりました。その中で、中国を中心とした太陽電池新興生産国の急激な生産能力増強により、太陽電池モジュールの価格は大きく低下し、国内の太陽電池製造メーカーには、製品のなおいっそうの高性能化が求められています。太陽光発電システムの高性能化には、太陽電池の高効率化・低コスト化・長寿命化の3つの技術開発が不可欠であります。そのためには、太陽電池に関わる材料研究、デバイス設計、製造プロセス・装置開発、それにモジュール化技術、性能評価に至るまで産学官連携での幅広い研究開発が求められます。

今回、1997年にCOP3京都会議が開催され、2014年には太陽光発電世界会議(6th WCPEC)の開催が予定されている京都で第9回シンポジウムを開催する運びとなりました。主催団体の会員はもとより会員以外の方も自由に投稿、参加できますので、お誘い合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

主催 日本学術振興会 産学協力研究委員会 第175委員会 (<http://solid.pe.titech.ac.jp/~gakushin>)
後援 (社)京都工業会
協賛 応用物理学会 応用電子物性分科会・応用物理学会 結晶工学分科会
会期 平成24年5月31日(木)、6月1日(金)の2日間
場所 京都テルサ (<http://www.kyoto-terrsa.or.jp/access.html>)
住所: 京都市南区東九条下殿田町70番地 京都府民総合交流プラザ内
電話: 075-692-3400
●JR京都駅(八条口西口, 新幹線側)より南へ徒歩約15分 ●近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分
●地下鉄九条駅4番出口より西へ徒歩約5分

シンポジウム参加費 7,000円(主催委員会登録委員:登録委員は1名です)、12,000円(一般)、
2,000円(学生)
懇親会費 3,000円

シンポジウムの内容

- (1) 結晶Si、薄膜Si、化合物薄膜、超高効率・集光形、色素増感・有機薄膜、第3世代等の各種太陽電池
- (2) 太陽電池の製造技術・モジュール技術、評価技術、リサイクル技術、測定法など
- (3) 太陽光発電システム(系統連系技術、フィールド試験、大規模発電、宇宙応用)など
- (4) NEDO、JSTプロジェクト関連
- (5) 国や地方自治体のエネルギー政策、導入普及と地域連携
- (6) 基礎講座

招待講演の他にも、広く一般講演(口頭発表とポスター発表)を募集しております。

講演申込、参加登録はWeb登録になりました。アドレスは、<http://solid.pe.titech.ac.jp/registration.html>です。

講演申込手続き

講演希望者は、A4用紙1枚に、発表題目、発表者名(連名)、連絡先住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス、講演概要(200字程度)を記入し、シンポジウム事務局まで **Webにてご登録下さい。**

講演申込の締切りは、平成24年4月2日(月)です。

ダイジェスト原稿の提出

提出された論文概要をもとにプログラムを作成し、申込者にお知らせ致します。講演者には、当日配布用のダイジェスト原稿(A4、2ページ以内)の作成をお願いいたします。**シンポジウム事務局まで電子メールにて送付下さい。**
ダイジェスト原稿の締切りは、平成24年4月25日(水)です。

参加登録

講演申込と参加登録は、別になっております。シンポジウムに参加を希望される方は、必ず氏名、所属、住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス、懇親会参加の有無を **Web にてご登録下さい**。

参加登録および参加費振込の締切りは、平成 24 年 5 月 11 日(金)です。

実行委員会

委員長： 和田隆博(龍谷大学)

副委員長： 山本憲治(カネカ)

プログラム委員長： 峯元 高志 (立命館大学)

プログラム委員: 荒川 裕則 (東京理科大学)、植田 譲 (東京工業大学)、大関 崇 (産総研)、大東威司(資源総合システム)、櫛屋勝巳(ソーラーフロンティア)、小長井誠(東京工業大学)、近藤道雄(産総研)、瀬川浩司(東京大学)、高本達也(シャープ)、竹内良昭(三菱重工業)、田中 誠(パナソニック)、豊島利之(三菱電機)、仁木 栄(AIST)、野々村修一(岐阜大学)、早瀬修二(九州工業大学)、冬木 隆(奈良先端科学技術大学院大学)、増田 淳(AIST)、山口真史(豊田工業大学)、吉川 暹(京都大学)

会場係： 前田 毅(龍谷大学)、阿部泰宏(立命館大学)、松井 卓矢(産総研)

事務局

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 S9-10

東京工業大学 大学院理工学研究科 電子物理工学専攻 小長井誠研究室秘書

古川 公子

電話:03-5734-2698、FAX:03-5734-2897、E-mail: furukawa.k.aa@m.titech.ac.jp

参加費・懇親会費振込先

みずほ銀行 大岡山支店 普通預金

店番号 145、口座番号 2084534

にほんがくじゅつしんこうかいだい175いんかいだいひょうこながいまこと
日本学術振興会第175委員会代表小長井誠

日本学術振興会 産学協力研究委員会 第 175 委員会 運営委員会

委員長： 小長井誠(東京工業大学)

副委員長： 山口真史(豊田工業大学)

近藤道雄(産総研)

運営幹事： 大下祥雄(豊田工大)

庶務幹事： 山田 明(東工大)

運営委員： 荒川裕則(東京理科大学)、植田 譲(東京工業大学)、大関 崇(産総研)、大東威司(資源総合システム)、櫛屋勝巳(ソーラーフロンティア)、瀬川浩司(東京大学)、高本達也(シャープ)、竹内良昭(三菱重工業)、田中 誠(パナソニック)、豊島利之(三菱電機)、仁木 栄(産総研)、野々村修一(岐阜大学)、早瀬修二(九州工業大学)、冬木 隆(奈良先端科学技術大学院大学)、増田 淳(産総研)、山本憲治(カネカ)、吉川 暹(京都大学)、和田隆博(龍谷大学)

ホテル案内

会場はJR京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約15分の位置にあります。京都駅周辺にはたくさんホテルがあります。インターネットあるいは旅行業者を通じて、個別にお早めにご予約ください。

イノベティブPV賞(論文賞)ならびに奨励賞

第175委員会ではシンポジウムで発表された講演の中から優秀な論文を選び、イノベティブPV賞ならびにイノベティブPV奨励賞を授与します。「奨励賞」は発表者が35歳以下(発表時点)の方を対象としますので、該当のご講演者は、講演申し込み時にその旨、明記願います。